

自治会連合会定例会（2月）



浦安市自治会連合会
URAYASU FEDERATION OF LOCAL COMMUNITY ASSOCIATIONS

浦安市民憲章

豊かな伝統と美しい人情に恵まれた浦安市民は互いに手を取りあい、やすらぎのある緑と健康の海浜都市をめざす全市民の願いをこめてこの市民憲章を定めます。

1. 近隣を大切にし、思いやりのあるあたたかいまちにしましょう。

1. 自然を大切にし、緑あふれる明るいまちにしましょう。

1. 教養を高め、豊かな文化を育てうるおいのあるまちにしましょう。

1. 勤労を尊び、健康で若さあふれるまちにしましょう。

1. 善意を尊び、笑顔といたわりで心のふれあうまちにしましょう。

(昭和56年4月1日制定)

浦安市民の歌 (海と緑のまち)

山本詳子 作詩 作曲
岩谷時子 補作 親泊正昇 編曲

一、希望の虹を 明るく架けて

清く流れる 境川よ

海辺のまちの 歴史を長く

伝えておくれ とこしえまで

今おおきく 羽ばたくまち

新しいふるさと みんなの浦安

二、明日の夢を 語る二人に

緑あふれる 並木路よ

小鳥が歌う 枝に花咲く

青春の幸せ まちの栄え

今かわそう 愛の言葉

自然のふるさと みんなの浦安

三、世界へつづく 青い海原

海の香りは さわやかだよ

あなたも君も まちで暮らして

いつも心は 一つなのさ

今ここには 未来がある

伸びゆくふるさと みんなの浦安

自治会連合会定例会

議題 1 令和 4 年度浦安市自治会連合会表彰式及び
新年懇親会の報告について

議題 2 令和 4 年度自治会・町内会講座の報告について

議題 3 第 32 回近隣七市住民自治組織代表者会議の報告について

その他 各課からの協力依頼等連絡事項

ムクドリやカラスなどの鳥獣対策について

(環境保全課)

議題 1 令和 4 年度浦安市自治会連合会表彰式
及び新年懇親会の報告について

- 1 日 時：令和 5 年 1 月 22 日（日）午前 11 時～午後 1 時
- 2 場 所：オリエンタルホテル東京ベイ 3 階 オリエンタル
- 3 出席者数：40 自治会 123 名 来賓 15 名
- 4 被表彰者数：感謝状 1 号表彰 連合会役員退任者 1 名（1 名出席）
2 号表彰 自治会長退任者 41 名（8 名出席）
3 号表彰 自治会副会長・会計退任者 13 名（8 名出席）
表彰状
4 号表彰 自治会班長以上従事者 80 名（51 名出席）
-
- 合計 135 名
(感謝状 55 名、表彰状 80 名)
- 5 記念品：感謝状対象者 ボールペン
表彰状対象者 タオル

議題2 令和4年度自治会・町内会講座の報告について

1 日 時

令和5年1月23日（月）午後1時30分～

2 場 所

ホテルグランドヒル市ヶ谷 東館3階「珊瑚」

3 次 第

基調講演

「これからの自治会・町内会を考える」

講師：茨城県生涯学習社会教育研究会 会長

長谷川 幸介 氏

事例発表

「青葉台町会協議会まちづくりの歩み」

講師：千葉県市原市 青葉台町会協議会 顧問兼 39PJ 事務局長

田中 功夫 氏

「課題とこれからの地域連携に向けて」

講師：千葉県柏市 柏市地域協働を考える会 事務局長

深津 英雄 氏

4 出席者（5名）

自治会連合会長

自治会連合会副会長

自治会連合会幹事

入船北エステート自治会長

自治会連合会事務局

5 講演内容

基調講演「これからの自治会・町内会を考える」

1. 人類の生存戦略は3本の柱からできている
2. 人類最大の発明＝「社会」という名の幸せ装置は変化し続ける
3. 「4つの縁」は社会変動の波を受け始めている
4. これからの地域活動の「カタチ」（多様な価値と個性を活かしあう！）
5. 自治会・町内会リーダーの役割を考える

【概要】状況、所見、その他参考事項

まず、人類がつくってきたものとして4つの縁「血縁（家族）・地縁（自治会）・友縁（NPO法人）・職縁（地方公共団体）」について説明があった。4つの縁は、交通事故や地震等の問題が発生した際のセーフティネットとなるが、年々小さくなってきている。

血縁においては家族構成の変化によりセーフティネットの網目が縮小し、地縁（自治会）は「今だけ、自分だけ、お金だけ」を考える人にとってはメリットがなく自治会に加入する人が減少している。友縁団体（NPO法人）については、団体ごとに異なる様々な目的をもっており1つの方向を向いていないため網目が粗くなってしまう。地方公共団体については、税収の減少等により地方公共団体の力だけではこれまでのサービスを維持できなくなってきており、市民協働という手法を採っている。

この“無縁社会”の解決策として、地縁団体（自治会）と友縁団体（NPO法人）が連携したときに力を発揮することができる。

また、自治会に加入促進をする際には、メリットを伝えようとするのは誤りであり、自治会は震災など有事の際にみんなで助け合える保険のような役割を持っていることを説明しなければならない。

組織を運営する上で、1人1人が違う方向に向かうのではなくそれぞれの個性をつなげていく必要がある。

事例発表1「青葉台町会協議会まちづくりの歩み」

- ・先人たちの基礎づくり 1990年～
- ・39（サンキュー）プロジェクトとは
- ・39PJを進める上での注目の出会い
- ・その他

【概要】状況、所見、その他参考資料

1982年に青葉台連合町会から、9町会からなる青葉台町会協議会が発足した。「新しい価値を創造し続ける街！」をビジョンに掲げ、青葉台の家族・先人・地域に感謝し、一般公募で集まった住民と地元の中高生合わせて39人でワークショップを行い、地元高校生が企画したカフェのオープンや、「空き家の有効活用」というテーマのもと、地域内公募で集まった住民、中・高・大学生が参加し対話する場を設けるなどの39プロジェクトを行っている。

青葉台町会協議会は、39プロジェクトを行うにあたり、協議会とプロジェクト分野別チームの間に入り提案や意見を整理・立案を担う事務局を設置している。事務局業務に対しては対価を支払う予定であり、2年以内に青葉台町会協議会を一般社団法人化できるように進めている。

事例発表2「課題とこれからの地域連携に向けて」

- ・ コロナ禍での自治会活動実態
- ・ 自治会の現状と課題
- ・ 自治会は本当に必要か？
- ・ 自治会のこれからの姿
～市民活動団体やNPOとの連携～
- ・ その他

【概要】 状況、所見、その他参考事項

柏市地域協働を考える会は、柏市民大学地域づくりコースを卒業した地域活動経験者で発足した団体で、柏市と協働し、自治会の困りごとや課題について共に考え自ら解決することを目的に活動する市民公益活動団体である。活動内容は、柏市との協働事業として、自治会活動講座の開催や新任自治会長勉強会の開催協力、自治会取材活動をもとにした活動事例集の作成、自治会長の相談窓口業務等である。

また、柏市内の自治会におけるコロナ禍での活動実態について、新型コロナウイルスの影響により活動が停滞してしまった。そのため新たな活動として、花の植木鉢を届けるサロン活動や、自治会員が自宅で盆踊りや花火を行いその様子を自治会のホームページにアップロードするイベントを行った。また、自治会・町内会の運営面では、総会及び役員会における書面決議やオンライン会議の活用、回覧や掲示板の電子化を行った。その結果、自治会の負担が軽減した。

自治会活動の課題として、防災防犯、福祉、環境等の多様な地域課題に対応する万屋になってしまうことが挙げられる。そのため、それぞれの地域課題を、地域防災活動は地域防災活動団体に、防犯パトロールは地域防犯パトロール隊に、福祉活動はNPO法人に、会費の集金は民間企業に外注するなど、各事業の作業はアウトソーシングし負担を減らしていく必要がある。

議題3 第32回近隣七市住民自治組織代表者会議の報告について

毎年、近隣七市（船橋市、鎌ヶ谷市、市川市、習志野市、八千代市、松戸市、浦安市）の住民自治組織の代表者がそれぞれの現状や課題について意見交換を行っています。令和4年度は習志野市が幹事を務めて、住民自治組織の代表者が会場に集まり開催する予定です。

1 日 時

令和5年2月7日（火）午前10時00分～

2 場 所

習志野市役所5階 委員会室

3 議 題

- ・コロナ禍における自治会活動について
- ・町会・自治会等におけるごみ処理方法について

4 出席者

- ① 八千代市自治会連合会（2名）
 - ・副会長
 - ・監事
- ② 鎌ヶ谷市自治会連合協議会（3名）
 - ・会長
 - ・副会長 2名
- ③ 船橋市自治会連合協議会（2名）
 - ・会長
 - ・副会長兼事務局
- ④ 市川市自治会連合協議会（3名）
 - ・会長
 - ・総括担当副会長
 - ・相談役
- ⑤ 松戸市町会・自治会連合会（3名）
 - ・会長
 - ・副会長 2名
- ⑥ 習志野市連合町会連絡協議会（3名）
 - ・会長
 - ・副会長 2名
- ⑦ 浦安市自治会連合会（2名）
 - ・会長
 - ・副会長

その他 各課からの協力依頼等連絡事項

1 ムクドリやカラスなどの鳥獣対策について

(環境保全課)

令和5年2月 自治会連合会定例会協力依頼等連絡書

担当課名	環境保全課		
協力依頼等の件名	ムクドリやカラスなどの鳥獣対策について		
配布物名	啓発チラシ		
配布方法	後日、各自治会長宛に必要部数を郵送いたします。		
<p>○内 容</p> <p>ムクドリやカラスなどの野生の鳥獣に関する情報や対応策などについて、周知、啓発を目的として自治会掲示板への掲示をお願いいたします。</p>			
担当者	広瀬・角永	連絡先	(電話)047-352-6482
			(Eメール) kankyuhozen@city.urayasu.lg.jp